

(別紙様式4)

## 職業実践専門課程の基本情報について

|                 |   |                 |   |   |        |                        |
|-----------------|---|-----------------|---|---|--------|------------------------|
| 学 校 名           | 設置認可年月日   | 校 長 名           | 所 在 地   |   |        |                        |
| 日本リハビリテーション専門学校 | 平成9年12月25日  | 陶山 哲夫           | 〒171-0033東京都豊島区高田3-6-18<br>(電話) 03-5954-6511    |   |        |                        |
| 設 置 者 名         | 設立認可年月日   | 代 表 者 名         | 所 在 地   |   |        |                        |
| 学校法人 敬心学園       | 昭和61年4月11日  | 理事長 小林 光俊       | 〒169-0075東京都新宿区高田馬場1-32-15<br>(電話) 03-3200-9071 |   |        |                        |
| 目 的             | 作業療法士として即戦力を身につけるための専門教育を実施する。心豊かな人間性を持った医療者育成を目指し、知識や技術のみでなく総合的臨床能力を高めることに重点を置く。                             |                 |   |   |        |                        |
| 分野              | 課程名   | 学科名             | 修業年限<br>(昼、夜別)                                  | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数   | 専門士の付与 | 高度専門士の付与               |
| 医療              | 医療技術<br>専門課程  | 作業療法学科<br>(昼間部) | 4年(昼)   | 125単位   | —      | 平成17年文部科学省告示第169号・170号 |
| 教育課程            |   | 講義              | 演習  | 実験  | 実習     | 実技                     |
|                 |   | 73単位            | 23単位  | 29単位  | 29単位   | 29単位                   |
| 生徒総定員           | 生徒実員  | 専任教員数           | 兼任教員数   | 総教員数  |        |                        |
| 140人            | 130人  | 7人              | 23人   | 30人   |        |                        |
| 学期制度            | ■前期：4月1日～9月30日<br>■後期：10月1日～3月31日   |                 | 成績評価  | ■成績表(有・無)<br>■成績評価の基準・方法について<br>S、A、B、C、Dの5段階評価、筆記試験、実技試験、平常の学習状況及び欠席状況を総合して評価する。 |        |                        |
| 長期休み            | ■学年始め：4月6日<br>■夏 季：8月10日～9月11日<br>■冬 季：12月25日～1月4日<br>■春 季：3月9日～4月3日<br>■学 年 末：3月6日                           |                 | 卒業・進級条件   | 卒業要件：本校に4年以上在籍し、全科目を履修し認定を受けること。<br>履修方法：履修単位制。授業科目を履修して試験に合格すれば科目認定を与えられる。       |        |                        |
| 生徒指導            | ■クラス担任制(有・無)<br>■長期欠席者への指導等の対応<br>出席状況を常に把握し、一定以上の欠席日数の学生に対し担任が指導を行っている。                                      |                 | 課外活動  | ■課外活動の種類<br>学業に支障がない範囲でボランティア活動に参加することを方針としている。<br>■サークル活動(有・無)                   |        |                        |
| 主な就職先           | ■主な就職先、業界<br>病院、診療所、介護老人保健施設他<br>■就職率 100%<br>■卒業者に占める就職者の割合 100.%<br>■その他(任意)<br>(平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報) |                 | 主な資格・検定   | ・作業療法士国家試験受験資格<br>・上級救命講習   |        |                        |

|                |   |
|----------------|---|
| <p>中途退学の現状</p> | <p>■中途退学者 15名 ■中退率 10.9%</p> <p>平成27年4月1日在学者138名（平成27年4月入学者を含む）<br/> 平成28年3月31日在学者123名（平成28年3卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由<br/> 進路変更（不適性）、成績不振、健康上の理由等</p> <p>■中退防止のための取組<br/> クラス担任制を設け、学生全員と個別面談を行い、状況の把握に努めている。一定の成績に満たない学生に対しては、自己分析の上、学習方法の改善等の特別指導を行っている。</p> |
| <p>ホームページ</p>  | <p>URL: <a href="https://www.nitiriha.com/">https://www.nitiriha.com/</a></p>   |

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

生徒の就職先となる医療機関（病院・医院等）及び介護老人施設や福祉施設（身体障害者施設・介護老人福祉施設等）における作業療法士等の人材の専門性に関する動向を踏まえながら、最新の實務に関する知識、技術、技能などを十分把握・分析したうえで、当該職業実践専門課程の作業療法学科昼間部（4年制）の教育を実施するにふさわしい授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年3月6日現在

| 名 前    | 所 属                                |
|--------|------------------------------------|
| 陶山 哲夫  | 日本リハビリテーション専門学校 校長                 |
| 高田 治実  | 帝京科学大学 東京理学療法学科教授                  |
| 武市 裕貴  | 介護老人保健施設小金井あんず苑 副施設長               |
| 松岡 良幸  | 介護老人保健施設ふれあいの里 リハビリテーション課長         |
| 古川 広明  | 新百合ヶ丘総合病院 リハビリテーション科科長代行           |
| 山下 高介  | 陽和病院 社会療法部作業療法室作業療法士               |
| 栗原 実里  | 総合東京病院 診療技術部リハビリテーション科作業療法士        |
| 二瓶 隆一  | 日本リハビリテーション専門学校 名誉校長               |
| 工藤 征四郎 | 日本リハビリテーション専門学校 副校長・総括事務長          |
| 畠山 敦   | 日本リハビリテーション専門学校 教務部長兼理学療法学科総括学科長   |
| 近野 智子  | 日本リハビリテーション専門学校 副教務部長兼作業療法学科昼間部学科長 |
| 篠田 良平  | 日本リハビリテーション専門学校 理学療法学科昼間部学科長       |
| 鈴木 雅男  | 日本リハビリテーション専門学校 理学療法学科夜間部学科長       |
| 深瀬 勝久  | 日本リハビリテーション専門学校 作業療法学科夜間部学科長       |

(開催日時)

第1回 平成28年10月21日 15:00～16:00

第2回 平成29年 2月17日 15:00～16:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校では臨床的教育重視の観点から企業との連携による実習・演習等に関して、最新の実践的かつ専門的職業教育を行うことを基本方針として実践している。

| 科 目 名  | 科 目 概 要  | 連 携 企 業 等  |
|--------|--|--|
| 臨床見学実習 | 病院・施設の作業療法部門（精神障害、身体障害、発達障害、老年期障害）（2年前期・後期）にて、施設担当者の指導の下、見学を主体とした実習を行う。  | 伊奈病院、川越リハビリテーション病院、愛誠病院、江田記念病院、東所沢病院 平成28年度 44 施設        |
| 臨床実習Ⅰ  | 身体障害、精神障害、老年期障害、発達障害分野の病院、施設において、実習施設における作業療法および作業療法士の役割と機能を学ぶ。臨床実習指導者の指導、援助のもとに、実習生が対象児・者を全体的に把握するために必要な評価を実施し、評価のまとめを行い、作業療法を計画する。 | 川崎協同病院、上尾中央総合病院、平川病院、介護老人保健施設明日葉、小禄みなみ診療所、平成28年度 42 施設   |
| 臨床実習Ⅱ  | 身体障害、精神障害、老年期障害、発達障害分野の病院、施設において、実習施設における作業療法および作業療法士の役割と機能を学ぶ。臨床実習指導者の指導、援助のもとに、実習生が対象児・者を全体的に把握するために必要な評価、作業療法の計画・実施、その記録報告、       | 埼玉セントラル病院、石井クリニック、東京青梅病院、天久台病院、旭川荘医療・療育センター 平成28年度 28 施設 |

再評価という一貫した作業療法行為を修得する。

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

日本リハビリテーション専門学校教職員研修規程に基づき、専修学校の専門課程の職業実践専門課程の認定の趣旨に鑑み、時代の流れに沿った最新の医療・福祉・保健等に関する社会のニーズを反映した教育活動を実践していくため、これまで以上に、研究レベル及び実務レベルの医療や福祉又は保健等の学会や研修会に教職員が積極的に参加して、資質の充実向上を図っていくことを教職員研修等基本方針とする。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年3月6日現在

| 名 前   | 所 属                         |
|-------|-----------------------------|
| 高田 治実 | 帝京科学大学 東京理学療法学科教授           |
| 武市 裕貴 | 介護老人保健施設小金井あみず苑 副施設長        |
| 松岡 良幸 | 介護老人保健施設ふれあいの里 リハビリテーション課長  |
| 古川 広明 | 新百合ヶ丘総合病院 リハビリテーション科科長代行    |
| 山下 高介 | 陽和病院 社会療法部作業療法室作業療法士        |
| 栗原 実里 | 総合東京病院 診療技術部リハビリテーション科作業療法士 |

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <https://www.nitiriha.com/evaluation>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <https://www.nitiriha.com/evaluation>

## 授業科目等の概要

| (医療技術専門課程作業療法学科学科昼間部) 平成28年度 |                  |                  |        |   |         |              |             |        |        |                                      |
|------------------------------|------------------|------------------|--------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 分類                           |                  |                  | 授業科目名  | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                                      |
| 必<br>修                       | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |        |   |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験<br>・<br>実<br>習<br>・<br>実<br>技 |
| ○                            |                  |                  | 心理学    | 心理学の基礎を学ぶこと。心理学の概要を理解し、さらに人間の発達段階における特徴、心理学理論による人間理解と心理学的援助技法の基礎的知識を習得する。   | 1<br>前  | 3<br>0       | 2           | ○      |        |                                      |
| ○                            |                  |                  | 哲学     | 医療従事者として必要として必要な多様な考え方や価値観を育むために、いくつかの事例について学ぶ。   | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○                            |                  |                  | 教育学    | 最近の教育事情を把握するとともに、教育学の基礎的知識を学ぶ。また、授業を通して、自分自身の学びを再点検すること、人間・社会等を理解する為の視野を広げることをねらいとする。   | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○                            |                  |                  | 社会学    | 人間がいかにして、社会的な存在となり、市民社会の成員になっていくのか、人間と社会の関係を通して理解する。人間が共生できる社会について学習し、考える力を養う。私たちの個人から社会集団へと変化する実態を通して社会を理解する。社会的人間や共生社会について、人権・コミュニケーション論のグループワークを通して、理解し、考える。 | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○                            |                  |                  | 学習支援演習 | 学習を進める上で必要な知識と技術を身につける。講義ノートの取り方、テキストの読み方、調べたりまとめること、レポートの書き方、これらに関連して使うパソコンの知識や技術を習得する。  | 1<br>前  | 3<br>0       | 2           | △      | ○      |                                      |
| ○                            |                  |                  | 情報科学   | パソコンを身近な道具として使えるように、基本的な知識を習得し活用できるようにする。ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの使い方を学ぶ。  | 1<br>前  | 3<br>0       | 2           | △      | ○      |                                      |
| ○                            |                  |                  | 統計学    | 医療関係で使う統計学の全体像を把握する。合わせてExcelとRコマンド（統計ソフト）のツールの利用方法を学ぶ。   | 2<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      | △      |                                      |
| ○                            |                  |                  | 保健体育   | 健康についての理解を深め、健康に影響を与える印紙が我々のライフスタイルとどのように関連するか学習する。   | 1<br>前  | 3<br>0       | 2           | ○      | ○      |                                      |

| 分類     |                  |                  | 授業科目名  | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                                      |
|--------|------------------|------------------|--------|--|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |        |  |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験<br>・<br>実<br>習<br>・<br>実<br>技 |
| ○      |                  |                  | 英語     | 知識や技術は的確にコミュニケーション能力が発揮されてこそ、より有効に機能する。外国人と接する機会が増えている国際社会において、その手助けになるのが英語（英会話）である。この講義では机上の学習だけでなく時には体も動かし英語を「生きた言葉」として捉えるようにすると同時に、医療の専門用語についても身に付けていく。 | 1<br>前  | 3<br>0       | 2           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 解剖学Ⅰ   | 人体構造の理解を深める。骨・関節の構造を理解し、用語を習得する。   | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 解剖学Ⅱ   | 人体構造の理解を深める。筋肉の位置と構成を理解し、用語を習得する。  | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 機能解剖学Ⅰ | 下肢・体幹の骨、筋、神経、脈管の触診を通して、身体の構造と運動を学習する。  | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | △      |        | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 機能解剖学Ⅱ | 上肢の骨、筋、神経、脈管の触診を通して、身体の構造と運動を学習する。   | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | △      |        | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 機能解剖学Ⅲ | ひとの神経系の構造と機能、運動の調節のしくみを学習する。   | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 解剖学実習  | 神経系を構成する神経組織および神経系の発生を理解し、中枢神経系、末梢神経系の構造を学習する。さらに感覚器（皮膚、視覚器、平衡聴覚器）の構造を学習する。  | 1<br>後  | 3<br>0       | 1           | △      |        | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 生理学Ⅰ   | 人体の生理機能のうち、神経系、筋、運動について学習する。   | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 生理学Ⅱ   | 人体の生理機能のうち、血液、循環、呼吸、消化と吸収、栄養代謝・体温・排泄・内分泌・生殖・感覚について学習する。  | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 生理学実習  | 人体がもつ様々な基礎的な仕組みや働きについて、各自が被験者となり、またデータを取ることによって、知識を理解を深めることを目的とする。   | 1<br>後  | 3<br>0       | 1           |        |        | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 運動学Ⅰ   | 運動学の基本的な概念や用語を用いて、上肢の関節運動を記述することができる。上肢について、解剖学および生理学の知識をもとに、関節運動のしくみを説明することができる。  | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |

| 分類     |                  |                  | 授業科目名   | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                                      |
|--------|------------------|------------------|---------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |         |   |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験<br>・<br>実<br>習<br>・<br>実<br>技 |
| ○      |                  |                  | 運動学Ⅱ    | 解剖学および生理学、生体力学の知識をもとに、体幹・下肢の関節運動と筋の作用を説明できる。  | 2<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 運動学実習   | 正常なひとの運動・動作を観察、分析し、専門用語を用いて表現できるようになる。  | 2<br>前  | 3<br>0       | 1           | △      | ○      |                                      |
| ○      |                  |                  | 人間発達学   | 人間を発達の視点からとらえ、生涯発達の視点で展望できる事を目指す。人間を発達の視点で捉えることが、その後学んだ臨床的知識の理解をより容易にすることができる。                | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 臨床心理学   | 臨床心理学の基礎理論と心理臨床の技法の学習。  | 1<br>後  | 3<br>0       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 内科学・老年学 | 内科疾患の病態・検査・治療についての理解を深める。リハビリテーションの対象となる患者が内科疾患を有する率はきわめて高く、内科疾患の理解なしに適切なリハビリテーションを行うことは出来ない。 | 2<br>前  | 3<br>0       | 2           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 整形外科学   | 身体運動器器官の形成過程と機能、障害診断手段、治療法とその限界について学ぶ。  | 2<br>前  | 3<br>0       | 2           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 神経内科学   | 神経内科学総論および各論を学ぶ。  | 2<br>前  | 3<br>0       | 2           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 小児科学    | 治療に作業療法が重要な役割を果たす小児・思春期の疾患について学ぶ。   | 1<br>後  | 1<br>5       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 精神医学    | 精神科領域における各種疾患の病態・症状を学ぶ。   | 1<br>後  | 3<br>0       | 2           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 病理学概論   | 国家試験に出題される範囲内で病理学の基本的な知識を理解する。  | 2<br>前  | 1<br>5       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 病態運動学Ⅰ  | 主に整形外科疾患の疾患特性（病態）の理解を解剖学、生理学、運動学の知識と統合し、対象者の評価・治療／援助介入と関連付けて学ぶ。                               | 2<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 病態運動学Ⅱ  | 主に内部疾患および中枢神経疾患の疾患特性（病態）の理解を解剖学、生理学、運動学の知識と統合し、対象者の評価・治療／援助介入と関連付けて学ぶ。                        | 2<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |

| 分類     |                  |                  | 授業科目名         | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                                      |
|--------|------------------|------------------|---------------|--|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |               |  |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験<br>・<br>実<br>習<br>・<br>実<br>技 |
| ○      |                  |                  | リハビリテーション医学概論 | リハビリテーション医学概論に関する基本的知識を習得する。   | 1<br>前  | 3<br>0       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 社会福祉概論        | 社会福祉、社会保障の分野の学習を通じ、必要とされる対象者（障害者等）に対してチームワークによる支援が出来るように援助したい。                           | 2<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法概論Ⅰ       | 作業療法士の資質と適性を学ぶ。作業療法の概念、用語を学ぶ。作業療法の哲学と歴史を知る。リハビリテーションサービスにおける作業療法の役割を知る。                  | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法概論Ⅱ       | ケースシナリオのグループ検討を通して、専門基礎科目および作業療法に関する専門知識を統合すること。問題解決のプロセスと学習方法を学ぶこと。コミュニケーション能力の向上を図ること。 | 1<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法特講        | 作業療法における実践の流れについて、事例検討を通して学ぶ。  | 3<br>前  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法研究法       | 作業療法における研究の意義を考え、研究に必要な基本的な知識・技術を習得する。研究法の学習を通して、問題解決への積極的な意欲と探求心を養う。                    | 3<br>後  | 1<br>5       | 1           | △      | ○      |                                      |
| ○      |                  |                  | 基礎作業学         | 作業療法で用いられる「作業」について理解する。  | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 基礎作業学演習       | 作業療法的手段として用いられるマクラメと木工について、基本技法（作業活動の特性、必要な身体機能・精神機能、材料・器具の特性と使用法・管理法など）を学ぶ。             | 1<br>後  | 2<br>4       | 1           |        | ○      | △                                    |
| ○      |                  |                  | 体験実習          | 福祉施設でのボランティア体験を通して、作業療法士として必要な基本的態度、コミュニケーション技能を学ぶ。                                      | 1<br>前  | 4<br>5       | 1           |        | △      | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 臨床見学セミナー      | 臨床見学実習に臨むに当たり、その目的や心構えを学ぶ。実習生として相応しい言動を学ぶ。実習後は報告会にて課題に沿った報告を行い、今後の実習への自己課題を明確にする。        | 1<br>後  | 3<br>0       | 1           |        | ○      |                                      |
| ○      |                  |                  | 身体障害評価学Ⅰ      | 身体障害分野の評価の基礎を講義形式で学習し、評価技法を講義及び実習の中で習得する。  | 1<br>後  | 3<br>0       | 1           | ○      |        | △                                    |
| ○      |                  |                  | 身体障害評価学Ⅱ      | 身体障害分野の評価の基礎を講義形式で学習し、評価技法を講義及び実習の中で習得する。  | 2<br>前  | 4<br>8       | 2           | ○      |        | △                                    |



| 分類     |                  |                  | 授業科目名           | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                                      |
|--------|------------------|------------------|-----------------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |                 |   |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験<br>・<br>実<br>習<br>・<br>実<br>技 |
| ○      |                  |                  | 身体障害評価<br>学演習   | 身体障害分野における臨床実習に必要なとされる検査・測定を演習形式で学習し、評価技法および作業療法士としての基本的態度を修得する。                                    | 2<br>後  | 4<br>5       | 1           | ○      |        | △                                    |
| ○      |                  |                  | 発達障害評価<br>学     | 発達障害の対象者に必要な評価計画を学ぶ。対象者に必要な評価方法を選択するために、発達障害領域における検査法を学ぶ。評価結果をまとめ、解釈し、支援計画立案への方向付けを学ぶ。              | 2<br>前  | 3<br>0       | 1           | ○      |        | △                                    |
| ○      |                  |                  | 精神障害評価<br>学     | 精神障害のある人を少しでも理解し、援助するための基礎技法を習得する。精神障害のある人に作業療法（作業活動）を活用する為の基礎技法を習得する。精神科領域の作業療法における「評価の基礎技法」を理解する。 | 2<br>前  | 3<br>0       | 1           | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法基礎<br>演習Ⅰ   | 関節可動域測定および徒手筋力検査の実技演習を行い、基本的な検査測定技能を習得する。   | 1<br>後  | 3<br>0       | 1           |        | ○      | △                                    |
| ○      |                  |                  | 作業療法基礎<br>演習Ⅱ   | 身体障害分野、発達障害分野、老年期障害分野における各種評価、検査・測定の演習を行い、基本的な評価、検査測定技能を習得する。                                       | 2<br>前  | 3<br>0       | 1           |        | ○      | △                                    |
| ○      |                  |                  | 作業療法総合<br>演習Ⅰ   | 評価実習に向けた準備として、小グループでの演習および実習形式で学習し、面接、評価および治療技法を修得する。   | 3<br>後  | 6<br>0       | 2           |        | ○      | △                                    |
| ○      |                  |                  | 作業療法臨床<br>セミナーⅠ | 臨床実習Ⅰ（評価実習）終了後、担当ケースの事例報告を行い、臨床実習で得た知識と経験の振り返りを行う。  | 3<br>後  | 6<br>0       | 2           |        | ○      |                                      |
| ○      |                  |                  | 身体障害治療<br>学Ⅰ    | 身体障害領域の作業療法理論と役割、身体に障害を持つ人の社会生活を援助するための治療理論および実践技術に関する基礎知識を学ぶ。                                      | 2<br>後  | 3<br>0       | 1           | ○      |        | △                                    |
| ○      |                  |                  | 身体障害治療<br>学Ⅱ    | 身体に障害をもたらす疾患・傷害とそれによる障害について理解を深め、作業療法援助の実際を学ぶ。作業療法計画立案や治療手段について学び、体験する。PBL学習法により自主学習を身につける。         | 2<br>後  | 3<br>0       | 1           | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 身体障害治療<br>学Ⅲ    | 身体に障害をもたらす疾患・傷害とそれによる障害について理解を深め、作業療法援助の実際を学ぶ。また、義肢装具に関する基本的知識と装具作製技術を学ぶ。                           | 3<br>前  | 3<br>0       | 1           | ○      |        | △                                    |
| ○      |                  |                  | 身体障害治療<br>学演習   | 身体に障害を持つ人の心身機能及び生活への理解を深め、作業療法援助について学ぶ。作業療法計画立案や治療手段について学び、体験する。                                    | 3<br>前  | 4<br>5       | 1           | ○      | △      |                                      |

| 分類     |                  |                  | 授業科目名      | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数 | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                                      |
|--------|------------------|------------------|------------|---|---------|--------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |            |   |         |              |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験<br>・<br>実<br>習<br>・<br>実<br>技 |
| ○      |                  |                  | 発達障害治療学Ⅰ   | 発達障害の主要疾患について症例を通して発達段階や疾患の特徴を踏まえた評価、支援目標や内容について学ぶ。   | 2後      | 30           | 1           | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 発達障害治療学Ⅱ   | 人間発達学や発達障害評価学における知識を対象者に結びつけて考え、対象者に必要な具体的な支援内容を学ぶ。   | 2後      | 30           | 1           | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 発達障害治療学演習  | 障害者の方を招いての校内演習を行う。計画立案、情報収集と評価、観察、面接、検査を実施する。評価結果をまとめ、問題点の焦点化と全体像の捉え直し、ゴール設定とプログラム立案を経験する。                | 3前      | 30           | 1           |        | △      | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 老年期障害治療学   | 「高齢期を取り巻く状況」「高齢者の心身の特徴」「認知症」などの知識を学習し理解する。障害を持つ高齢者に対する作業療法はもちろんのこと、現在健康である高齢者へのかかわりも含めて作業療法がどうあるべきかを学習する。 | 3前      | 48           | 2           | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 精神障害治療学Ⅰ   | 精神障害のある人の評価から治療計画までを症例検討を通して学ぶ。治療構造とその流れへの理解、援助を学ぶ。各回復過程に応じた作業療法と援助方法を学ぶ。                                 | 2後      | 30           | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 精神障害治療学Ⅱ   | 精神科作業療法の評価、治療方法を講義、事例の解説、症例問題の演習を通して学習する。   | 2後      | 30           | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 精神障害治療学演習  | 精神障害に対する作業療法を実施する為に、基本的な障害に対する作業療法技法を実習、演習し習得する。  | 3前      | 45           | 1           |        |        | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 高次脳機能障害治療学 | 高次神経障害の評価および治療の基礎を講義形式で学習し習得する。高次神経障害の基本的評価技法を学ぶ。   | 3前      | 30           | 1           | ○      |        | △                                    |
| ○      |                  |                  | 日常生活活動学    | 日常生活活動（ADL）に関する基礎知識を学び理解する。作業療法士としてADLのとらえ方、臨床場面への活かし方などを学ぶ。  | 2後      | 30           | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 日常生活活動学演習  | 疾患や障害別のADLについて学ぶ。疾患や障害別のADLアプローチについて学ぶ。   | 3前      | 45           | 1           | ○      |        | △                                    |
| ○      |                  |                  | 職業関連活動学    | 職業リハビリテーションの理念および障害者の就労支援の現状を理解する。職業リハビリテーションにおける作業療法士の役割および職業関連活動に関する基礎知識と技法を習得する。                       | 3前      | 24           | 1           | ○      |        |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法基礎演習Ⅲ  | 作業療法の治療、援助方法について症例検討を行う。作業療法の治療、援助の実際を演習を通して学ぶ。   | 2後      | 60           | 2           |        |        | ○                                    |

| 分類     |                  |                  | 授業科目名       | 授業科目概要  | 配当年次・学期 | 授業<br>時<br>数           | 単<br>位<br>数 | 授業方法   |        |                                      |
|--------|------------------|------------------|-------------|---|---------|------------------------|-------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 必<br>修 | 選<br>択<br>必<br>修 | 自<br>由<br>選<br>択 |             |   |         |                        |             | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験<br>・<br>実<br>習<br>・<br>実<br>技 |
| ○      |                  |                  | 作業療法総合演習Ⅱ   | 総合臨床実習に向けた準備として、小グループでの演習および実習形式で学習し、評価および治療技法を修得する。また、小グループでの演習形式で専門基礎および専門分野の知識の定着をはかる。               | 3<br>後  | 60                     | 2           |        | ○      |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法特論      | 作業療法に必要な国家試験レベルの知識・技能の確実な習得を図る。   | 4<br>後  | 360                    | 12          | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 作業療法臨床セミナーⅡ | 臨床実習Ⅱの終了後、事例報告を中心とした相互学習を通じて実習体験をより確かなものにする。  | 4<br>後  | 60                     | 2           |        | ○      |                                      |
| ○      |                  |                  | 地域作業療法学Ⅰ    | 作業遂行を促す物理的環境の種類・適応についての知識・技術・方法論を習得する。  | 3<br>後  | 30                     | 2           | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 地域作業療法学Ⅱ    | 地域リハビリテーションの理念について理解し、それに関わる法制度、携わる職種について知る。また、職種間の連携について理解し、作業療法の役割と実際について理解を深める。                      | 4<br>後  | 30                     | 2           | ○      | △      |                                      |
| ○      |                  |                  | 臨床見学実習      | 病院・施設のしくみや役割および、その中で働く作業療法士の役割を理解する。作業療法の対象疾患や障害像を知る。社会人、医療人としての基本的態度を学ぶ。                               | 2<br>後  | 60                     | 1           |        |        | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 臨床実習Ⅰ       | 作業療法の臨床の現状への理解と見聞を深める。対象者に対する検査・観察・面接などを体験し、その情報から対象者の状態像を考察し、治療計画を立案する技術を体得する。                         | 3<br>後  | 270                    | 6           |        |        | ○                                    |
| ○      |                  |                  | 臨床実習Ⅱ       | 作業療法の臨床の現状への理解と見聞を深める。対象者に対する検査・測定・観察・面接などを体験し、その情報から対象者の状態像を考察し、作業療法計画を立案、実施し、再評価を行い、作業療法の実際的な技術を体得する。 | 4<br>前  | 720                    | 16          |        |        | ○                                    |
| 合計     |                  |                  |             |   | 7 4 科目  | 3 6 1 8 単位時間(1 2 5 単位) |             |        |        |                                      |